

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)	◎	－	－
	○	百貨店（売場主任）	・どうみん割やGo To Travelキャンペーンなどの経済施策が始まったことで、人の流れが出てくることになる。それにつれて、身の回り品の動きも出てくるため、今後の景気はやや良くなる。
	○	家電量販店（経営者）	・給付金やプレミアム付商品券などの効果が期待されるが、冷夏の影響でエアコンなどの夏物商材の売行きがどうなるかが不透明である。
	○	乗用車販売店（従業員）	・今後は段々と冬に向かっていく時期となるため、例年であれば需要の落ち込む時期となるが、新型コロナウイルスの動向が落ち着いてきたと判断できれば、今後も販売量は伸びていく。結果的に例年並みの販売量に近づくのではないかと期待している。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・今後の景気はやや良くなる。SNSへの投稿でも出張や旅行の記事が増えてきており、旅行したいという気持ちの高まりを感じる。一方で、当地や東京から地方への移動について、不安要素も少なからず残っており、過剰に反応する人も少なくない。こうした状況は当分続くと思われるため、急激な回復は望めないが、観光客が少しずつ増加することで、地域経済も回るようになると期待している。
	○	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、再び移動制限などが実施されると4～5月と同じような事態となることが懸念されるが、航空便数が回復している現在の状況が継続すれば、観光需要も増加する。
	○	旅行代理店（従業員）	・首都圏などでの新型コロナウイルスの感染拡大が今後1か月程度で収まれば、Go To Travelキャンペーンが軌道に乗る。そうなれば、主力の団体旅行の取扱件数も増加することになり、景気が良くなる。ただ、現状の感染状況が改善されない場合は、北海道と本州との往来も活発化しないため、大きな良化は期待できない。さらに、北海道の感染者が少なくても、報道で東京や大阪などの状況が扱われることで、地方においても大きな影響が生じることが懸念される。
	○	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスが終息することになれば、サービス業の景気が上向きになる。
	○	通信会社（企画担当）	・飽くまでも緊急事態宣言や外出自粛などの制約が生じないことが前提であるが、これから販促費を増やし、大型スーパーやショッピングモールでの出張販売なども多く実施していく予定であるため、通信機器の販売量の回復が期待できる。
	○	観光名所（従業員）	・緊急事態宣言に伴い営業を休止し、6月から営業を再開している。再開後、客足は少しずつ伸びてきていることから、今後の景気はやや良くなる。新型コロナウイルスの感染防止対策について、しっかりと気を引き締めて行うことで、客が安心して過ごせるようになれば、客のにぎわいが戻り、以前の状態に回復すると期待している。
	□	商店街（代表者）	・当地ではGo To Travelキャンペーンの効果などが余りみられないことから、今後の景気が上向くことを期待できない。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスによる影響は今年一杯は同じような傾向で推移するとみられる。長雨や大雨の影響も3か月先までは何らかの影響を及ぼすことになる。そのため、今後も景気は変わらない。
□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・北海道では1けた台の感染者数が続いていることもあり、影響が少しずつ落ち着いてきている。ただし、全国の感染者数が増えていること、道外からの人の移動が増えていることなどから、今後、北海道の感染者数が増えることになれば、再び自粛の動きが強まるため、景気回復には程遠い状況が続く。新型コロナウイルスの感染が収まらない限り、旅行したいという気持ちにはなかなかならない。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒〕（経営者）	・毎日発表される新型コロナウイルス感染者の人数が人出を左右する状況が続いていることから、今後の景気も新型コロナウイルスの動向次第の面がある。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・Go To Travel キャンペーンが始まり、国内での人の移動が活発になり、来道者も増えつつある。一方、第2波への警戒が日増しに強くなってきていることから、今後も景気は一進一退の状況が続く。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業販促担当）	・新型コロナウイルスの動向が落ち着かない限り、来客数が改善するまで時間が掛かることになる。また、催事などの展開についても影響が続くことになる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たず、今後も新しい生活様式の中での動きとなるため、現在の状況と大きな変化はないまま推移する。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・自粛期間中に海外の商品工場がストップしていたこともあり、その分、秋物、冬物衣料の物量が不足することが懸念される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（役員）	・スーパー業界もいずれは景気が悪くなるとみていたが、関東や関西での新型コロナウイルス感染者の増加傾向をみると、再び家庭での内食が増加するとみられ、今後も現状並みの販売量を維持することになる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・今後も悪い状態のまま変わらない。新型コロナウイルスの影響が縮小することになれば、店売りが減少することになる。その場合、外販分は回復するが、飲食店への納品量が前年並みに回復することまでは見込めない。新型コロナウイルスの影響が拡大しても縮小しても、マイナスの影響を受けるため、全体では景気回復を見込めない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの第2波の影響で客足が鈍っていることから、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・先行指標である新車の受注台数は前年を上回る勢いがあり、新車の登録台数も当面は計画台数を維持できる。一方、こうした傾向が今後も続くかどうかの判断は時間を要することになる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まれば、新型車効果もあり、景気が上向くことになる。ただし、感染拡大が続けば、どうなるか分からない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・先々について不透明な状況にあることから、今後の動向を心配している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの第2波が拡大している現在の状況下では、今後の経済状況の先行きがみえてくるまで、客が大きな買物を控えることになる。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（店長）	・今後の新型コロナウイルスの動向が、予想に反して不透明になってきていることから、各地域での感染者数の増減によって影響が左右されることになる。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・連日の感染者数の報道により、消費者の不安が増大していることから、今後、自粛行動が進むことを懸念している。
<input type="checkbox"/>	スナック（経営者）	・11月頃までは現在の状態が続くとみられることから、今後も以前の売上の6～7割程度で推移することになる。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・Go To Travel キャンペーンが始まったものの、今日現在、全国各地で新型コロナウイルスの感染者が増加していることから、客はまだまだ警戒している。今後の感染拡大状況にもよるが、2～3か月先の道外旅行への問合せがほとんどみられないことから、今後も道内の宿泊の取扱しかない状況が続くことが懸念される。道外への航空券付きの旅行や海外旅行の予約受注が生じない限り、旅行業の景気は良くならない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが収まらない限り、2～3か月後の状況も見通せない。当分の間はこのままの状態での推移が続く。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの影響で全く先がみえない。今が底だとみているが、観光支援策である国のGo To Travel キャンペーンの対象から東京が除外されたことで、効果が不透明になっているため、いつまで現状が続くのか大きな不安を感じている。

□	美容室（経営者）	・今後の状況は、新型コロナウイルスがどのような状態になるのかで大きく変動するため、予測しにくい。来客数、売上共、今の状態が続くのではないかとみている。
□	美容室（経営者）	・今後の動向は、新型コロナウイルスの状況によって左右される。
▲	商店街（代表者）	・今後、人の生活は新型コロナウイルス感染拡大前とは異なるものになるとみられるが、客の行動がどのように変化するか、現状では未知の状態にあるため、しっかりと状況を見守りつつ、対策を打っていく必要がある。また、新型コロナウイルスが収束したとしても、消費税の減税又は廃止がなければ、景気回復は難しい。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で客の考え方が非常に悪くなっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	百貨店（役員）	・6～7月にかけて、順調に景気が上向きになってきているが、これから年内にかけて、新型コロナウイルスの影響が強まる懸念があるため、今後の景気はやや悪くなる。
▲	スーパー（店長）	・今後、新型コロナウイルスの影響が再び強まる懸念される。
▲	スーパー（企画担当）	・全国的に、新型コロナウイルスの第2波到来が叫ばれるような感染拡大が続いており、消費の自粛行動が再燃する懸念が出てきている。
▲	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、観光面での落ち込みは免れない。また、漁業資源の減少もあり、当地では景気の厳しい状況が続くことになる。
▲	コンビニ（エリア担当）	・このまま新型コロナウイルスの影響が続くことが見込まれる。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、外出も考えてからの行動となっている。今の状況が改善されるまで、消費は控えられることになる。
▲	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・今後、新型コロナウイルスによるダメージが強まることを心配している。政府の経済対策も追い付かないほどの買い控えが起きるのではないかと懸念している。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・新型コロナウイルスの再度の感染拡大により、先行きが不透明になっている。
▲	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数、特に観光客が減っている。観光客は今回の4連休で多少当地を訪れていたようであるが、鉄道利用客が余りみられなかったため、駅周辺の店舗では影響がなかった。なかなか先を見通せない状況が続いているため、今後も景気の悪い状況は続くことになる。
▲	観光型ホテル（スタッフ）	・地方自治体による観光需要喚起のキャンペーンが8月で終了予定である。一方、国のGo To Travelキャンペーンは不確定要素が大きく、期待薄と言わざるを得ない。このため、今後の景気はやや悪くなる。
▲	タクシー運転手	・Go To Travelキャンペーンなどによる観光活性化への期待はあるが、実際には問合せや予約もほとんどないことから、景気が上向く雰囲気はない。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスがある程度収まらないうちは、人出は元に戻らない。
▲	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染がますます拡大する可能性を含めて、状況はひっ迫してきていることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	住宅販売会社（経営者）	・6月の経済指標の多くは、5月が最悪の状況だったことの反動で見た目はかなり良くなるとみられるが、所得低下による本当の影響はこれから明確に現れてくることになる。今後、落ち込む消費を下支えするために、消費税減税が絶対に必要となる。
×	商店街（代表者）	・2～3か月後は、オフシーズンへ向かう時期となる。また、Go To Travelキャンペーンやどうみん割によって、7月の4連休や8月のお盆を通じて、新型コロナウイルスの感染が拡大することを懸念している。

	×	商店街（代表者）	・7月の4連休は久しぶりに観光客が増えていたが、Go To Travelキャンペーンの影響という雰囲気はなかった。客層としては家族旅行が最も多く、次に若いカップルであり、グループ旅行はほとんどみられなかった。客の人数が少なかったせいも、全くといっていいほど観光消費もなく、今後、観光業界にとって最大の繁忙期となる夏を迎えても苦境が続く。このままでは冬を迎えられそうにないほどである。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・当地でも倒産の話がどんどん出てきている。新型コロナウイルスと経済復興との兼ね合いも、何かかみ合わなくなっている。7月の売上は前年の14.5%であり、今のところはどうにか持ち堪えている状況である。
	×	スーパー（役員）	・社員を募集しており、飲食関係で解雇される人の応募が数多くみられる。話を聞くと9月前後で有給休暇がなくなる人が多く、今後、地域で失業者が増大することになれば、本格的な不景気となることが懸念される。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染が拡大していること、外国人観光客の入込が全く見込めないことなどから、今後の景気は悪くなる。
	×	その他専門店〔造花〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響で外出自粛や買い控えが生じており、今後に向けての出口もみえないことから、景気は悪くなる。
	×	観光型ホテル（経営者）	・夏の観光シーズンが終われば、旅行需要は一気に今以上に落ち込むことになる。例年であれば、秋以降は団体旅行が盛んになるシーズンだが、今年はそれがかなわないため、Go To Travelキャンペーンが行われるにせよ、冬季に向けて一層の落ち込みは避けられない。
	×	タクシー運転手	・国の助成金や金融機関の新型コロナウイルス関連融資などの効果で、今のところ企業の倒産も少ないが、今の状況がこのまま続くと、これから倒産する企業が増え、失業者が大量に増加することになる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの第2波が生じているとみられるが、この先の第3～4波も想定される。自粛により、移動人口は必要最低限の状態が続くことが見込まれ、交通事業者にとって明るい材料はない。
	×	タクシー運転手	・全国で新型コロナウイルスの感染者の数が増えてきていることで、今後、自粛や規制が強まることが懸念されるため、景気はやや悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・マスクに税金が使われている一方で、企業に対するフォローが余りないことから、今後の景気は悪くなる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・今後、新型コロナウイルスの第2波の影響が相当出ると見込まれるため、消費などは冷え込むことになる。
企業 動向 関連 (北海道)	◎	—	—
	○	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・北海道新幹線の札幌延伸、大手企業の定期修理、災害復旧、社会インフラ強じん化、長寿命化、再生可能エネルギー基地建設工事など、建設投資が比較的旺盛なことから、今後の景気はやや良くなる。
	□	食料品製造業（従業員）	・2～3か月先も今と変わらない景気の水準が続く。
	□	家具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染防止と経済活動の綱引き状態が続いていることから、ワクチンが行き渡るまでの間、本格的な景気拡大は望めない。
	□	金属製品製造業（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響はまだまだ解消できない。新型コロナウイルスの終息がみえないなか、様々な業種の会社で業績が悪くなっていることから、今後の景気は悪いまま変わらない。
	□	建設業（経営者）	・公共工事は例年並みの水準であるものの、民間建築はやや低調に推移している。また、個人住宅は引き合いがかなり落ち込んでいる。新型コロナウイルス発生以前の生活様式に戻らない限り、観光、飲食、交通、サービス関連業などは厳しい状況が続くことになり、全体の景気も良くならない。

	<input type="checkbox"/>	建設業（役員）	・新型コロナウイルスが収束に向かう見通しが全く立っていないことから、当面、民間企業の設備投資は慎重な姿勢が続く。新型コロナウイルス対策での財政負担の増加により、公共投資予算の縮減も懸念され、次年度以降の受注見通しが立ちそうにない状況は今後も変わらない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（支店長）	・本来であれば、物流業にとって秋口は農産物などの荷動きもあり、繁忙期となるが、新型コロナウイルスの影響で大幅に貨物量が減っている状況にあるため、今後も良化は望めない。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・依然として、新型コロナウイルスの感染状況、経済活動への影響が不透明なことから、景況感の動向を見通せないというのが本音であるが、当社周辺に関しては、ウィズコロナ関連で案件が増加している。一方、経済、営業活動の制約による業務進捗遅れも生じているが、景況感としては現状のやや良い状態を維持できるとみている。
	<input type="checkbox"/>	金融業（従業員）	・各種給付金やGo To Travelキャンペーンなどの経済対策による景気押し上げ効果が見込まれるものの、雇用や所得の先行き悪化が政策効果を相殺し、道内景気は横ばい状態のまま変わらない。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	・全体的な経済活動の動向は、一連の新型コロナウイルスが鎮静化する時期によって左右されることになる。
	<input type="checkbox"/>	コピーサービス業（従業員）	・今後、一時的な落ち込みがあるとみているが、長い目でみれば、景気が持ち直す要素もあるとみている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・新型コロナウイルスによる経済への影響は2～3年続くとみられていることから、民間の建設投資に対する意欲が減退し、冬季に向けて厳しい状況が続く。
	<input checked="" type="checkbox"/>	司法書士	・新型コロナウイルスのワクチン開発が景気回復を左右する状況にある。年内のワクチン完成は無理とみられることから、今後の景気はやや悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響による民間設備投資の抑制など、今後、民間需要を中心に建設投資が落ち込むことになる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・定期的な入替え需要はあるものの、新規の設備投資計画を立てることができない客先が多いため、今後の景気はやや悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（従業員）	・今年の秋頃に価格改定を予定しており、その影響で販売量が減少することが見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	出版・印刷・同関連産業（従業員）	・景気が良くなる要素がない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、大型イベントが軒並み中止となっているほか、再度の外出自粛などが生じる懸念もあるなど、景気が上向き要素が全くない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・新たな仕事の話がほとんど聞こえてこないことから、今後の景気は悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・これまでの新型コロナウイルスの影響を考えると、営業活動や出勤方法など、新しい仕事のスタイルを見付け出し、市場に合わせた行動をとるようにしない限り、経済活動は伸び悩むことになる。
雇用 関連	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
(北海道)	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・求人との問合せはきているものの、3か月前と比べると減少傾向で推移していることから、企業に対して、当社から積極的にアプローチしなければ、減少傾向が続くことになる。緊急事態宣言の解除により、求人企業との連絡、企業面接は平常時の状態に戻ったが、企業における採用基準は以前より高く設定されており、内定率が下がっている。一方、求職者は新型コロナウイルスの影響で求人が減少していることを意識しているようで、当社からの求人提案に対して以前よりも真剣に話を聞いているようだ。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・農産物に関わる産業の景気は、前年並みまでとは至らないものの、かなり安定した状態で推移していくことが見込まれる。

□	求人情報誌製作会社（編集者）	・北海道の感染者数は減少しているが、全国の感染者数が増加している。観光に依存している北海道としては観光客に来てもらいたいが、手放しには喜べない状況にある。一方、観光客も移動を自粛しているようである。これらのことから、今後も景気は変わらない。
□	求人情報誌製作会社（編集者）	・例年であれば、農作物の収穫に伴う繁忙期を迎え、それに合わせた食のイベントの開催、秋の行楽シーズンなど、景気が良くなる要素の多いタイミングだが、今年に関しては不透明である。今後については、新型コロナウイルスの動向次第としかいいようがない。
□	職業安定所（職員）	・新規求人数が前年比マイナス17.1%と減少しているほか、企業整理に関する相談、情報についても増加傾向にある。ただ、求人数、有効求人倍率については、経済活動の回復に伴い、徐々に復調することが見込まれる。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・観光に関わる業種の多い道内では、しばらく先のみえない状況が続く。各大学での就職内定率もしばらくは上昇を全く期待できない。久々の氷河期到来が懸念される。
▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・最近の新型コロナウイルス感染者数の増加傾向を踏まえると、しばらくは外食や旅行を我慢する傾向が続く。政府の助成金や給付金などの施策の効果が切れてしまうタイミングでもう一段景気が下がりそうな懸念がある。
▲	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は3か月連続で前年を下回るなど、多くの業種で新型コロナウイルスの影響が生じている。
▲	職業安定所（職員）	・現時点では、雇用を維持し、離職につながっていないケースもまだ多いとみられるが、今後、体力のない会社から離職者が生じることが懸念されるため、景気はやや悪い方向に進む。
×	—	—